

豊洲市場視察・調査<第二回> 平成28年9月21日(水) 『対策PTが再び調査 地下水位2センチ上昇も!』

東京都議会公明党「豊洲市場整備問題対策プロジェクトチーム(PT)」の上野和彦座長らは21日、豊洲市場の青果棟の地下空間や、雨水をためる貯留槽などを調査し、都の担当者から実態を聴取した。

同PTは、14日にも豊洲市場を緊急調査したが、今回は、青果棟など主要3施設の地下空間に地上から重機を入れるために設けられた搬入スペース「マシンハッチ」のほか、地下水位を常時計測する「地下水位観測井戸」なども調べた。

また、青果棟の地下空間では、たまっていた水の水位が前回調査では最大17センチだったが、2センチ程度上昇していることも確認した。上野座長は、水位の上昇について「最近、降り続いた雨により地下水が上がってきたのではないかと指摘した。



5街区(青果棟)
水たまりの上昇を確認



地下水位観測井戸の調査・計測



重機搬入口(マシンハッチ)を確認